

第3回九州圏水工学研究会 (Final Ver.)

2026年9月7日(月)–8日(火) 佐賀
Sep. 7–8, 2026, Saga

会場 Venue
佐賀大学本庄キャンパス理工学部6号館 都市大講義室
Saga Univ., Honjo Campus, Faculty of Science and Engineering, Building 6
(佐賀市本庄町1, Honjo-machi 1, Saga)
<https://www.saga-u.ac.jp/gaiyo1/campusmap/>

主催 佐賀大学理工学部都市工学部門流域水工学研究室

プログラム Program

■9月7日(月) Sep. 7(Mon.)

13:00–13:30 受付 理工学部6号館 1階 都市大講義室前

13:30–13:35 開会あいさつ 押川英夫(佐賀大学)

13:35–14:25 口頭発表(1) Oral Presentations Session 1 [進行: 押川英夫(佐賀大学)]

※口頭発表は質疑込みで各25分、タイトルは仮題で若干変更の場合有。

13:35–14:00 張浩(熊本大学) 「令和8年熊本地震に伴う河川関係災害について(仮)」

14:00–14:25 丸谷靖幸(九州大学) 「流域水循環モデルと氾濫解析モデルのオンライン結合システムを用いた河川流況と氾濫頻度・規模の将来予測」

14:40–16:10 Poster Session

※教職員(研究員も含む)は活発な討議と優秀講演の推薦をお願いします。評価は別途説明。

16:25–17:15 口頭発表(2) Oral Presentations Session 2 [進行: 赤松良久(山口大学)]

16:25–16:50 CUI YUFENG(九州大学大学院D1) 「Climate Change Impacts on Hypoxia in the Yatsushiro Sea: An Analysis Using the Large-Ensemble Climate Dataset d4PDF」

16:50–17:15 高井佑豪(佐賀大学大学院D3) 「有明海湾奥部と筑後川における水温の長期変化および河川からの熱輸送に関する研究」

17:15–17:25 写真撮影 [※会場で集合写真を撮ります。]

18:30–20:30 懇親会 Party: 会場 個室居酒屋 くいもの屋わん 佐賀駅前店
佐賀市駅前中央1丁目4-6 モービル V2F
(参加者数36名、会費: 5000円程度)

■9月8日（火） Sep. 8 (Tue.)

9:00-10:40 口頭発表（3） Oral Presentations Session 3 [進行：重枝未玲（九州工業大学）]

9:00-9:25 矢野真一郎（九州大学） 「有明海の貧酸素への気候変動影響評価における
気候予測データセットの解像度の影響について」

9:25-9:50 HAO LIN（九州大学） 「Extreme river discharge intensifies coastal hypoxia
under climate change in the Ariake Sea」

9:50-10:15 福丸大智（山口大学） 「流域システムにおける河川水温の時空間変動特性の解明」

10:15-10:40 浅田寛喜（熊本大学） 「日本全国における豪雨災害による斜面崩壊のリスク評価」

10:55-12:10 口頭発表（4） Oral Presentations Session 4 [進行：巖島怜（九州大学）]

10:55-11:20 大中臨（山口大学） 「画像分析 AI を用いた効率的な河床材料調査手法の開発」

11:20-11:45 ウォンタナースントーン ナルモン（佐賀大学）
「巖木ダムにおける藻類挙動に関する研究（仮）」

11:45-12:10 原口智和（佐賀大学） 「佐賀平野における農地防災と生態環境保全のための
水生植物の管理」

12:10-12:20 学生表彰・閉会式・解散

12:30頃-14:00 運営会議（有志のみ：参加予定者数8名） 場所：理工学部3号館1階会議室

注意事項：

1. 講演中（ポスター発表を含む）は携帯電話をマナーモードにしてください。
 2. ポスターはA0縦型を想定しています。
-

Poster Session Program [9月7日(月) 14:40-16:10] :

場所：都市大講義室内およびホール（受付場所付近）

※発表者は、セッション開始前までに番号の場所にポスターを貼ってください。

- P01 瀬戸口裕也 九州大学 筑後川における高出水を誘発する降水特性の分析と将来予測
- P02 森田優斗 佐賀大学 流域外気象情報を考慮した深層学習による洪水予測に関する研究
- P03 中村遼音 山口大学 佐波川水系におけるHiPP0ブロックを導入したRNNによる河川水位予測モデルの適用
- P04 吉田瑞矢 九州工業大学 深層学習を用いた遊泳挙動に基づく魚種識別手法について
- P05 松澤匠記 山口大学 佐波川流域における堰群が魚類多様性に与える影響の基礎的検討
- P06 古賀基幹 熊本大学 河川環境再生を目指したワンドの機能評価に関する研究
- P07 田中蒼生 熊本大学 橋脚周辺の局所洗掘対策工としての群杭の効果に関する研究
- P08 柴内有人 九州工業大学 河道安定条件と護岸の被災箇所に関する実験的検討
- P09 坂本篤郎 熊本大学 宇久島におけるメガソーラー設置による雨水流出機能の定量的評価
- P10 十河佑宇 九州工業大学 浸透流による斜面崩壊および土石流の発生・流動に関する1次元解析手法の
開発と検証
- P11 高橋快吏 九州工業大学 浸透流を考慮した非静水圧・非平衡1次元洪水流・河床変動解析の遠心模型越流
侵食破堤実験への適用
- P12 堀之内華凜 熊本大学 土砂粒度の非均一性が河床変動特性に与える影響に関する研究
- P13 山野響輝 日本文理大学 山国川流域を事例とする土地利用変化の評価手法の検討
- P14 大津圭吾 九州工業大学 房総半島南部における遷急点の空間分布と地震活動・地質との関係
- P15 関愛佳 佐賀大学 水害に対する災害免疫力の評価に向けた基礎的検討
- P16 岩田遥佳 熊本大学 漂流物付着条件を考慮した聖牛周辺の河床変動解析